



校報

わきいち

和合協力 気力体力 意志強固 知識探求 創立 明治8(1875)年

〒010-0342

男鹿市脇本脇本字上野1番地1

男鹿市立脇本第一小学校

TEL 0185-25-2215

FAX 0185-22-2009

<https://edu.city.oga.akita.jp/wakiichi-es/>

2月17日、今年度最後のPTA授業参観・学級懇談会を実施しました。この一年間の成長を見ていただこうと、張り切って授業に参加していました。1年生は「できるようになったこと・お得意発表会」、2年生は「体育：親子でキックベースボール」、3年生は「男鹿のいいところ★ほうこく会」、4年生は「4梅の成長を笑顔で伝える会」、5年生は「おにぎりパーティー（収穫感謝祭）」、6年生は「未来探検隊のまとめの発表」を参観していただきました。3年生の発表がまとめられたパンフレットは、なまはげ柴灯祭り会場で配られたり、観光客の方が自由に持っていってもらえるようにオガレやなまはげ館などに置かせていただきました。



<3年男鹿のいいところ★探検隊 パンフレット（抜粋）>

ベルマーク贈呈式(2月12日)

昨年秋に5・6年生がイオン東北さんとコラボし、男鹿食材を使った商品開発・販売をしたことをきっかけに、イオン東北さん、活動に協賛のキンビバレッジさんから、146,153点ものベルマークを寄贈していただきました。このベルマークは、東北6県内の昨年4月～6月のキャンペーン活動で集まったものだそうです。



本校でもこつこつとベルマーク回収活動を続けていますが、一人一人の小さな力が集まれば大きな力になり、自分たちの生活も豊かになることを実感できました。その後、一人一人にたくさんの飲料もプレゼントしていただきました。



のやり方を分かりやすく説明し、一緒に活動を楽しんだり、タブレットを使って勉強してみたりしました。「早く4月にならないかな」と、互いに入学を楽しみにしています。

新入生体験入学(2月3日)

本校1年生が待ちに待った新1年生体験入学が行われました。1年生と年長さんがペアになり、「学校〇×クイズ」や「王様じゃんけん」など

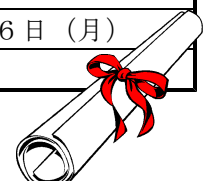


のやり方を分かりやすく説明し、一緒に活動を楽しんだり、タブレットを使って勉強してみたりしました。「早く4月にならないかな」と、互いに入学を楽しみにしています。

3月のおもな行事

3日	火	町内児童会
4日	水	全校5校時限
5日	木	全校5校時限
11日	水	卒業式予行 全校5校時限
13日	金	卒業証書授与式 全校4校時限
17日	火	PTA執行部会
18日	水	全校5校時限
19日	木	修了式 全校4校時限
20日	金	春分の日 春季休業～4月6日(月)
27日	金	離任式(全校出校日)

※令和8年度始業式は4月7日(火)
令和8年度入学式は4月8日(水)



Congratulations 

☆第16回秋田市少年フットサル大会
<U-10> 準優勝 グロースFC
4年 ○○ ○さん
○○ ○○さん

第5回学校運営協議会から(2月3日実施)

学校経営について、学校運営協議会の皆様からいただいた評価の一部を紹介します。

確かな学力の育成について

- ◆授業の様子から、先生たちと楽しく授業を進めている事が伝わってくる。基礎・基本的な定着を図るため、これからも授業改善、工夫を進めていただきたい。
- ◆授業の際、子どもたちの表情も生き生きしていて、先生たちの指導の工夫もたくさん感じられた。子どもたちが楽しそうに学んでいるのを見て、成長を感じた。
- ◆週末に持ち帰るタブレットを、子どもたちの基本的な学力の定着のために活用できないか。
- ◆引き続き楽しい授業を行ってもらい、子どもたちの理解力を高めたり様々な興味を引き出したりして欲しい。
- ◆中学校でも授業のICT化が進んでおり、小学校のうちからタブレットの上手な使い方を習得することが大事だと思う。参観では個人差があるように感じた。
- ◆どの授業に関しても、先生方の工夫が見られ、子どもたちの理解に大きく結び付いていると思う。その成果が県の学習状況調査の高い数値に表れている。教材研究など大変だとは思いますが、これからも頑張っていたきたい。
- ◆家庭学習(宿題等)は先生によって、量の違いが大きいと感じる。各学年に応じた適切な量を出していただきたい。

豊かな人間性の育成について

- ◆寒風山での凧あげ、紙飛行機飛ばしの活動は自然に触れ合うよい機会であり、イオン東北さんとの商品開発では企画・販売を実践できてよい体験になったと思う。このような体験的な学習が毎年続くことを願う。
- ◆先生方の雰囲気・対応から、子どもを温かく受け入れてくださっているのが伝わってきて、子どもたちも安心して分る。子どもたちも協力し合って学校生活を送っていることと思う。
- ◆異学年交流「なかよし班」では、高学年は自分の役割を理解し下級生をよくみている。

- ◆150周年記念事業では様々な楽しい企画があったので、今後も続けられるものは続いていくと嬉しい。
- ◆150周年記念事業に向けて、先生と子どもたちが一丸となり、よくがんばっていたと思う。特に「脇本の山ドンド」の復活で、地域とのつながりがより強固になったと思った。
- ◆様々な行事・活動で、子どもたちがみんなで協力して成功させようという意識が高いと感じる。縦割り班活動で上級生は下級生の面倒をよくみて、下級生は上級生の様子からよく学んでいる。

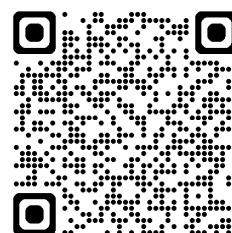
たくましい心と体の育成について

- ◆「言葉遣いがあまり良くない」というアンケート結果だが、子どもは大人の言葉遣いを無意識に真似していることが多いと思う。保護者、先生たちで、気付いた時にすぐ注意し正しい言葉遣いを教えることを心掛けて欲しい。
- ◆今年はいくつかの事業があり、子どもたちも経験の機会に恵まれていたと思う。今後もその体験を続けていけるように願っている。
- ◆冬のなわとび集会は体を動かす良い機会で、長なわとびではクラス一丸となり、仲間を思いやる事が出来たのではないかなと思う。
- ◆去年は学校敷地内にクマが現れたので、クマの避難訓練をするべきではないか。
- ◆挨拶は、すべてのコミュニケーションの始まりなので、心のこもった気持ちのよい挨拶ができるよう指導してほしい。家庭との連携も大事になってくると思われる。
- ◆明るい挨拶や、相手の気持ちを考えた言動がなぜ大切なのかを、学校でも家庭でもしっかり説明していくことが大切だと思う。
- ◆休み時間など、子どもたちは体を動かす遊びをしていると聞き、とてもよいことだと思う。
- ◆アウトメディアに関しては、スマートフォン等の利用の始まりがどんどん低年齢化しているので、学校・家庭が連携し、使い方に関して指導していく必要があると思う。

第5回学校運営協議会は2月3日に実施しました。授業参観、学校評価を踏まえた学校運営に関する協議を行いました。本校の子どもたちの健やかな成長を支えてくださる地域の方々への存在は、大変心強く、ありがたく思います。心より感謝申し上げます。

男鹿市CMに本校児童も

昨年暮れに行われた「第23回あきたふるさと手作りCM大賞」で、男鹿市観光課さんが作成した男鹿市をPRするCM『世界三景「寒風山」』がAAB賞を受賞され、年100回放送されるそうです。本校3年生が寒風山で紙飛行機を飛ばしている映像も入っています。もうご覧になった方もいらっしゃるかと思いますが、まだの方は、右のQRコードを読み取っていただき、ぜひご覧になってみてください。男鹿市のHPでは全編も見られます。



【男鹿市観光課作成CM】